＜令和８年度 更新・継続＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体				
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業･社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
				○
取組名称	アナログ業務のデジタル化			
取組の区分・状況	継続（前回報告から更新）			
取組開始時期	2024年以前から継続的に実施			
前回からの変更・進展	継続的に活動中			
現在の取組内容	・オンライン会議、オンライン研修の実施 ・会議資料のデジタル化、デジタル保存 ・電子契約 ・生成ＡＩを活用した業務効率化（資料作成、制度・法令・補助金情報の把握など）			
経　費	オールインワンミーティングボード　約1,000,000円 ＡＩ　無料版			
効果・成果	・出張旅費の削減、移動時間の削減 ・ペーパーレスによる紙資源の節約、費用節約 ・自社が実施する研修会、社員による工事進捗報告会、各種団体から受入れした教育支援活動などに活用し、高い効果を得ている。 ・生成AIを活用により資料作成や情報収集に係る時間の短縮、負担の軽減、業務の効率化が図れている。			
課　題	・情報の管理や情報漏洩など ・情報の正確性（古いデータ、間違ったデータの取り込みなど） ・社内全体への波及効果（個人の利用にとどまらない）			
今後の予定・展開				
備考・コメント				

写真1	

写真2	
写真3	
写真4	